

解禁日 平成22年2月5日

- 記者発表資料 -

平成22年2月4日
日本下水道事業団

第35回下水道技術検定（第1種）の合格者発表について

- 1 日本下水道事業団は、昨年11月に全国11都市で実施した第35回下水道技術検定のうち第1種の合格者を2月5日に発表する。

発表の方法は、同日、日本下水道事業団技術開発研修本部（埼玉県戸田市下笹目5141）の庁舎内に合格者の氏名及び受験番号を掲示するとともに、日本下水道事業団のホームページに掲載し、合格者本人に書面で通知する。

なお、下水道技術検定（第2種、第3種）、下水道管理技術認定試験（管路施設）については、昨年の12月18日、既に合格発表を行っている。

<http://www.jswa.go.jp>

- 2 下水道技術検定（第1種）の合格者の状況は、次のとおりである。

受験者は136人、合格者は17人であり、合格率は12.5%となっている。

（別紙1参照）

合格者の内訳（別紙2参照）

職業別の構成比をみると、公務員が35.3%と最も多く、次に設計業が29.4%となっている。

年代別の構成比をみると、30歳代が47.1%と最も多く、次に40歳代23.5%となっている。

学歴別の構成比をみると、大学卒業以上の者が76.5%と最も多く、短大卒業者等が17.6%となっている。

- 3 下水道技術検定（第1種）における多肢選択式問題の正答及び合格基準点は別紙3に記載のとおりである。

- 4 下水道技術検定（第1種）合格者は、一定の実務経験を経て、下水道法第22条に定める計画設計及び実施設計、工事の監督監理を行う場合の有資格者となる。

お問い合わせ先

日本下水道事業団技術開発研修本部

管理課長 大峰孝美
電話 048-421-2691

第35回下水道技術検定(第1種)合格者数等一覧

試験地	第 1 種				
	申込者数	受験者数	受験率	合格者数	合格率
札幌	名 4	名 3	% 75.0	名 1	% 33.3
仙台	13	8	61.5	0	0.0
東京	47	31	66.0	4	12.9
新潟	6	5	83.3	2	40.0
名古屋	28	14	50.0	2	14.3
大阪	55	38	69.1	4	10.5
広島	11	8	72.7	1	12.5
高松	14	7	50.0	1	14.3
福岡	25	18	72.0	2	11.1
鹿児島	3	3	100.0	0	0.0
那覇	1	1	100.0	0	0.0
計	207	136	65.7	17	12.5
	(224)	(139)	(62.1)	(19)	(13.7)

注 1 受験者数は午前の択一式を受験した者の数である。
 2 ()内は前年度の実績である。

1. 合格率 (区分別)

実施	年度	第1種
33回	19年	15.2%
34回	20年	13.7%
35回	21年	12.5%

2. 職業別構成比 (区分別)

(第1種)

実施	年度	公務員	設計業	維持管理業	建設業	その他	計
33回	19年	44.0%	32.0%	8.0%	8.0%	8.0%	100.0%
34回	20年	36.8%	42.1%	15.8%	0.0%	5.3%	100.0%
35回	21年	35.3%	29.4%	11.8%	5.9%	17.6%	100.0%

3. 年代別構成比

(第1種)

実施	年度	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	計
33回	19年	0.0%	20.0%	28.0%	32.0%	16.0%	4.0%	100.0%
34回	20年	0.0%	5.3%	36.8%	31.6%	26.3%	0.0%	100.0%
35回	21年	0.0%	0.0%	47.1%	23.5%	17.6%	11.8%	100.0%

4. 学歴別構成比

(第1種)

実施	年度	大学院・大卒	短大・高専卒	高校卒	その他	計
33回	19年	72.0%	12.0%	16.0%	0.0%	100.0%
34回	20年	89.4%	5.3%	5.3%	0.0%	100.0%
35回	21年	76.5%	17.6%	5.9%	0.0%	100.0%

5. 最年長者

(第1種)

実施	年度	年齢
33回	19年	60歳
34回	20年	56歳
35回	21年	64歳

1 第35回下水道技術検定(第1種)多肢選択式問題正答一覧

第1種

問題番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
正答番号	4	2	3	4	4	3	4	2	1	3	4	2	1	4	1	2	1	4	2	4
問題番号	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
正答番号	1	4	3	2	3	1	4	4	2	4	2	4	4	1	2	1	3	3	2	3
問題番号	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
正答番号	4	3	1	2	3	3	2	4	1	2	2	3	1	2	1	3	3	4	2	3

2 第35回下水道技術検定(第1種)合格基準

下水道技術検定(第1種)においては、多肢選択式において総合点数41点以上かつ記述式(5問の総合点数)の合計点数が下記表の合格基準点以上の者を合格とする。

記

試験区分		出題方式	出題数	満点	合格基準点
下水道技術検定	第1種	多肢選択式	60問	60	109
		記述式	5問	100	

下水道技術検定の概要

日本下水道事業団では、毎年1回受験者を公募して全国の主要11都市で下水道技術検定（以下「技術検定」という。）を行っています。

下水道の設計、工事の監督管理及び維持管理については、下水道法及び下水道法施行令により、学歴に応じた一定の下水道実務経験を有する者に行わせなければならず、事業を実施するにはこのような有資格者を確保する必要があります。

技術検定は地方公共団体における有資格者の早期確保などを目的に創設された制度で、合格した場合下水道法第22条の資格取得について必要とされる実務経験年数を短縮する特例が認められます。

技術の内容に応じて「第1種技術検定」、「第2種技術検定」、「第3種技術検定」の三分区があり検定の対象は次のとおりです。

検 定 区 分	検 定 の 対 象
第1種技術検定	下水道の計画設計を行うために必要とされる技術
第2種技術検定	下水道の実施設計及び工事の監督管理を行うために必要とされる技術
第3種技術検定	下水道の維持管理を行うために必要とされる技術